

阿武隈川上流流域下水道施設における再生可能エネルギー等の活用に
関するサウンディング型市場調査【結果概要】

1 目的

阿武隈川上流流域下水道（県中処理区）は、昭和51年度に事業着手し、昭和63年10月に供用開始し平成7年4月から関連する3市2町で供用し、現在まで運営しております。一方で、下水道事業の経営環境は、人口減少や節水技術の向上等による使用料収入の減少、施設の老朽化による改築費用及び管理運営経費の増加によって、今後より一層厳しくなることが想定されるため、中長期的な運営を視野にいたした経営の健全化に取り組むことが強く求められています。

また本県では、2050年までに脱炭素社会の実現を目指す、「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、公共施設の脱炭素化に向けた取組を進めているところであります。

そこで経営の健全化を図りつつ、脱炭素社会の実現に寄与できる方策について、行政内部だけで検討を進めるのではなく、民間事業者の皆様と直接対話(サウンディング型市場調査)を行い、対話を通して先進的なアイデアや幅広い視点から管理運営経費節減や温室効果ガスの排出削減につながる意見や提案をいただき、より効果的で実効性のあるものとするため、本調査を実施しました。

この度民間事業者への市場調査が完了しましたので、その概要を公表します。

2 対象施設

県中浄化センター（郡山市日和田町高倉地内）

3 サウンディング型市場調査の開催概要

実施要領公表	令和5年11月20日
現地説明会	令和5年12月4日～令和5年12月21日
サウンディング型市場調査参加受付	令和5年12月18日～令和6年1月5日
サウンディング型市場調査（対話）	令和6年1月17日～令和6年1月31日

4 提案件数

7事業者8提案

5 提案概要

太陽光発電事業のほか、再生可能エネルギーや下水道資源を活用した取組について提案をいただきました。

6 今後の予定

今回参加事業者の方々からいただいた提案内容や意見を踏まえ、引き続き管理運営経費の節減につながる事業検討を進めていきます。